

第2学年3組 外国語科学習指導案

1 単元 Daily Scene 4 Talking on the phone

2 指導観

○ 外国語によるコミュニケーションとは、外国語による言語活動を用いた相手のある言葉のやり取りである。その背景にはそれぞれの人の文化・生活環境・歴史等から築かれた見方や考え方などがあることを理解した上で、目的、場面や状況に応じて考え工夫し、主体的に自分を表現する力を育成することが大切とされている。そのため外国語科の授業においては、実際の場面を想起できる言語活動を多く取り入れ、学習した語彙・表現などを生徒が実践できる場に加えて、実際の場面で求められる「即時的にやり取りする力」の育成が必要とされている。

本単元では、友だちからの電話に家族が出たため取り次ぎを頼む場面から対話が始まる。教科書では、1年生では、友だち本人が電話に出る場面、さらに、3年生では、友だちに電話をするが本人不在のため伝言を残すという場面が設定されている。2年次で用いられる表現は、丁寧に依頼する May I ~? の文である。モデル文では友人の父に取り次ぎをたのむときは丁寧な表現を用い、友達との対話はカジュアルな表現を用いている。また、電話という特有な場面が必要となる相手に配慮した対話を心がけるなど、相手、目的、場面、状況に応じ主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度が必要となる。よって、この単元を学習することは大変意義深い。

○ 本学級では、1学期から毎時間英単語の発音練習を行い、また英語のイントネーションを意識しながらの本文音読練習を行っている。また、決められた文は読むことができるが、即時的に英語で対話することを苦手とする生徒が多いため、2学期から身近な話題で1分間ペア英会話を行っている。しかし発音練習や音読練習の時に比べ、自信を持って英語を発することができていない生徒が多くみられる。アンケートによると、将来、英会話力が必要になると思うと答えた生徒が91%、英語を使ってコミュニケーションできるようになりたいと答えた生徒が85%だった。しかし日常生活で英語を話す機会があると答えた生徒はわずか5%しかおらず、実践の場が欠如していることがわかる。このことから、いろいろな場面を設け英語で対話する実践の場を増やし経験を積み重ねることを通して、積極的に対話をしようとする態度につなげていくことが必要である。

○ 本単元の指導においては、電話での応答で、「~さんをお願いします」と丁寧に取り次ぎをたのむことができるようになることをねらいとしている。また、電話特有の即時的に相手の依頼や提案に応答したり、その応答に対して次々に会話を続けたりする力をつけるために、モデル対話にとどまらずその後の友だちとの対話では、既習言語材料を使い聞き手としても話し手としても相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこともねらいとしたい。そのためにまず、第一次では電話で会話するという特有な場面においてコミュニケーションをスムーズに進めるために必要となる表現は何かを考察する。次に第二次では基本表現とモデル対話を十分に練習し自信を持って対話ができるようにする。その後、ペアで日常生活の中で想起しうる電話でのやり取りを考えオリジナルスキットを作りプレゼンをする。その際振り返り活動を行い学びの足跡を残しておく。第三次では「即時的にやり取りする力」の育成につながるように、準備する時間をあてず即興で対話する場面を設定し言語活動を行う。その際は、生徒の身近な暮らしに関わる内容になるよう、よりお具体的でリアルな対話をさせたい。最後に、第一次で行ったスキット作りを再度行った後、単元を通しての自己の変容を認識できるように振り返る場面を設定する。

3 目標

○ 取り次ぎをたのむなど、電話の場面での会話に積極的に取り組んでいる。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○ 電話での応答で、「・・・をお願いします」と取り次ぎをたのむことができる。(外国語表現の能力)

○ 電話の会話で、用件を理解することができる。(外国語理解の能力)

○ 電話の場面での特有な表現やその意味を理解することができる。

(言語や文化についての知識・理解)

4 単元指導計画（計3時間）

関：コミュニケーションへの関心・意欲・態度、表：外国語表現の能力、理：外国語理解の能力、知：言語や文化についての知識・理解

次	時	学習活動・内容	指導のねらいと手だて	評価規準(観点:方法)
一		<p>1 口頭で反応、くり返し、確認しながら対話をする。【小さな振り返り】</p> <p>「友だちとの電話での会話」のオリジナルスキットを作ってプレゼンテーションをしよう。</p> <p>(1)対話をする上で大切になる要素を考察し、その中で特に電話で対話する上で重要なことは何かを確認する。</p> <p>(2)相手の顔が見えないことを想定し、反応、くり返し、相手の理解度を確認するなどの口頭練習をする。</p> <p>(3)身近な話題について、(2)で練習した要素に留意しペアで対話する。</p>	<p>「電話での会話」で必要になる言葉での反応、くり返し、確認ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標がつかめるようにそのモデルを映像で提示する。 言葉での反応、くり返し、確認が自信を持って表現できるように、学習シートを使って十分な練習を行う。 学習内容の確認と次回への課題解決にむけて小さな振り返り活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで協力し、意欲的に対話活動に取り組もうとしている。(意：学習シート)
二	1	<p>2 オリジナルスキットを作ってプレゼンテーションを行う。 【小さな振り返り】</p> <p>(1)モデル対話を理解する。</p> <p>(2)基本表現を練習する。 May I speak to ~?</p> <p>(3)モデル対話を練習する。</p> <p>(4)オリジナルスキットを作ってプレゼンテーションをする。</p>	<p>日常生活の中で想起しうる内容を考え、ペアで協力してオリジナルスキットを作りプレゼンテーションができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自信を持って発話できるようにペアで十分な音読活動を行う。 生徒間で学び合いができるように小集団間でスキットをプレゼンテーションする場面を設定する。 学習内容の確認と次回への課題解決にむけて小さな振り返り活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話の場面での特有な表現やその意味を理解することができる。(知：学習シート) ペアで協力し意欲的にモデル対話の練習やスキット作りをしようとしている。(関：学習シート)
三	1 本時 1 ／ 1	<p>3 即時的にやり取りすることに慣れる。</p> <p>(1)前回のオリジナルスキットを全体でふりかえる。</p> <p>(2)相手の提案や誘いに対して答え、誘い手はその答えに対して反応したり会話をふくらませたりして即時的に対話を続けていく活動を行う。</p> <p>(3)前時のペアで再度オリジナルスキットを作りプレゼンテーションをする</p> <p>(4)単元学習を通して、自己の学習状況の変容を記述する。 【大きな振り返り】</p>	<p>即時的にやり取りをする対話活動を通して、友達から学んだことを取り入れ、前時より工夫したオリジナルスキットを作ることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話での表現や提案する表現、”Sounds interesting.”などの反応する表現を全体で振り返るために前時作ったオリジナルスキットをフィードバックする。 間違いを恐れず、積極的に発話ができるように、助言する。 単元学習を通して、自己の学習状況の変容が実感できるように、前時本時を通しての大きな振り返りを行う場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の用件や対話の内容を理解することができる。(理：学習シート) ペアで協力し意欲的に対話の練習やスキット作りをしようとしている。(関：学習シート)

5 本時 平成29年11月9日(金) 第5校時 第2学年3組 第三次の1時(1/1)

6 本時の主眼

即時的にやり取りをする対話活動を通して、友達から学んだことを取り入れ、前回と比較してより高度なオリジナルスキットを作りプレゼンできるようにする。

7 振り返り活動を仕組む授業づくりの工夫点

単元学習を通して、できるようになったこと、友達から学んだことを確認し、今後の個々の主体的な学びに向けての課題や目標を設定できるように振り返りを行う。

8 準備 学習プリント、ビデオ、黒板提示用カード、パソコン

9 本時の過程

関心・意欲・態度【関】 表現の能力【表】 理解の能力【理】 知識・理解【知】

段階	学習活動・内容	具体的な手だて(支援)	評価の観点(方法)	形態	配時
つかむ	1 Warm up をする。 ・発音練習 ・日常会話インプット ・1分間スモールトーク	○英語の学習への意欲を喚起させ、対話活動につなげることができるようにする。		一斉 ↓ ペア	15
	2 前時の学習内容を振り返り、本時の学習の見通しをたてる。 (1) 前時のフィードバックをする。 (2) 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">Let's talk on the phone with your friends.</div>	○本時の学習の見通しを持たせるために、活動の流れをカードで示す。 ○生徒の活動意欲を高めるために、前時のオリジナルスキットを紹介する。		一斉 ペア	5
さぐる・深める	3 対話活動をおこなう。 (1) 対話活動をペアで行う。 A: May I speak to Erika? B: Sure. Just a minute. A: I'm going to the park. Do you want to come with me? … (2) 学習プリントに記入する。 お互いに理解できたことをメモし、確認する。 [(1) (2)を繰り返す]	○間違いを怖がらず、積極的に発話ができるように助言する。 ○即時的に対話が続けられるように、対話が弾んでいるペアのその理由をクラスと共有する。	・相手の用件や対話の内容を理解することができる。 (理:学習シート)	ペア	15
	4 ペアでスキットを作る。		・ペアで協力し意欲的に対話の練習やスキット作りをしようとしている。 (関:学習シート)	一斉	5
まとめる・振り返り	5 本時のまとめをする。 ・ボランティアペアの発表を聞く。	○単元学習を通して、できるようになったこと、友達から学んだことを確認し、今後の個々の主体的な学びに向けての課題や目標を設定できるように大きな振り返りを行う場を設定する。		個	3
	6 大きな振り返りをする。 ・単元の学習を終えての文章を記述する				7